

- 1 単元名 おすすめの都道府県をリーフレットで紹介しよう ～理由と事例を挙げて～
 教材名 「ふるさとの食」を伝えよう（東京書籍4年下）

2 単元目標

- 考えとそれを支える理由や事例の関係について理解することができる。
[知識及び技能] (2) ア
- ◎ 自分が考える良さとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
[思考力、判断力、表現力等 B] (1) ウ
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
[学びに向かう力、人間性等]

3 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①考えとそれを支える理由や事例の関係について理解している。((2) ア)	①「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 (B (1) ウ)	①粘り強く自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、リーフレットを作ろうとしている。

4 基盤

(1) 教材について

本単元の重点指導事項は、学習指導要領における〔思考力・判断力・表現力等〕の「B書くこと」(1)ウ「自分の考えとそれを支える理由と事例との関係を明確にして、書き方を工夫すること」である。相手に自分の考えを伝える場合、理由だけでなくそれを補強する事例があると説得力が高まる。そのため、本単元では、相手に伝わるような事例を選び、構成を工夫して書き表すことで、相手意識と論理構造を考えて書く力の基礎を培う。

本単元では、上記のような力を育てるために、リーフレットを作るという言語活動を設定している。リーフレットは、1枚の紙を折りたたんで作られる情報を伝える媒体であり、決められた分量で情報をまとめることや割り付けを工夫することが求められる。そのため、限られた紙面内で、読み手が知りたいと思うことを意識して情報を選択させること、わかりやすく伝えるために理由や事例を明確にして書くことを学習するのに適した教材だといえる。また、3年時には、目的を意識して、中心となる語や分を見付けて要約する学習を行っている。図書資料などから情報を付箋に書き出す際や、1000字程度の字数で事例をまとめる今回のリーフレット作りに要約する力を生かすことができると考える。

(2) 児童について

(略)

(3) 指導について

①単元全体・本時について

本単元では、自分の決めた都道府県についておすすめすることを、理由や事例とともにリーフレットにまとめて紹介するという言語活動を設定している。リーフレットを作成するにあたり、書き手の考えにはどのような理由があり、それをより具体的に説明するためにはどのような事例を挙げたらよいのか、「書き手の考え」「理由」「例」の関係性を明確にしてまとめていくことを意識させたい。

本単元の第一次で、おすすめの都道府県を紹介するリーフレットを作成し、完成したリーフレットを展示することを伝える。さらに、展示会に来てくれた人に「どの都道府県に行きたくなったか」のアンケートに答えてもらい、その結果を集計してランキングを作成することを児童に知らせ意欲を喚起したい。また、実際のリーフレットを見ながら、リーフレットの形式的な特徴や書き表し方の工夫に気づかせる活動をすることで、リーフレット作りへの見通しをもたせる。

第二次では、学習の見通しをもたせるために、まず島根県を例にリーフレット作りの手順を確認していく。その後、各都道府県について情報収集を行ったり、おすすめする理由やふさわしい事例を選択したりし、個人でのリーフレット作成につなげていく。情報収集・分析の際には、ワークシートを活用して、調べたことや考えたことを可視化する。そうすることで、自分の考えを支える理由と事例を明確にさせるとともに、情報について追加・修正がいつでも行えるようにする。

本時は、おすすめしたいものの候補から1つ選び、理由付けを行う。その際、自分のおすすめしたい気持ちだけでなく、相手意識をもたせながら、良さを伝えるためにふさわしい事例を選ばせ、理由付けにつなげていきたい。そのため、グループでの話し合う時間を設けることで、客観的な視点から自分の選んだ事例について吟味させるようにする。

第三次では、作成したリーフレットを読み合って感想を交流し、学習を振り返る。そして、授業公開日に合わせて展示コーナーを設け、保護者に投票をしてもらい結果と感想を児童に返していきけるようにする。

②研究との関わりについて

○児童の主体的な学びを導く単元構成の工夫

本単元では新型コロナウイルスの影響で、旅行に行きたくても行けない保護者に向けて、都道府県のよさを伝えるリーフレットを作るという活動を設定する。このような活動を設定することで、児童が自分の興味のある都道府県を主体的に選び、明確な目的意識をもって意欲的に学習に臨めると考える。また、保護者を対象に「リーフレットを読んで、どの地域に行きたくなったのか」というアンケートを実施することを知らせることで、「どのような事例を選べば自分のおすすめしたい気持ちがより伝わるのか」「読み手はどのような情報がほしいのか」など、相手意識をもって文章表現を工夫したり、情報分析をしたりする姿に期待したい。

○協働的な学びの工夫

第二次では、ペアやグループで協働的に課題解決に取り組む場を設定する。調べた情報を分析する活動、互いの文章を読み合っよところや改善点を見付け合う活動において、ペアやグループの形態をとることで、友達との対話的な意見交換を通して、課題を多様な視点から考えられるようにしたい。そのため、完成後の保護者アンケートは、「行きたくなった都道府県」ではな

く、「行きたくなかった地方」とすることで、同じ地域を選択している友達への積極的な関わりを促していきたい。

○図書館活用について

学校図書館司書と連携し、予め教室内に都道府県に関する図書コーナーを設けておく。単元が始まる前から少しずつ読んでおくことで、都道府県への関心が高まるようにする。第二次では、図書館司書とともに情報収集・分析、リーフレット作成がスムーズに行えるよう支援する。

5 指導計画 (全11時間 本時 6/11)

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価の観点・方法)	図書館活用
一	1	○リーフレットについて知り、学習の見通しをもつ。	・おすすめの都道府県をわかりやすく伝えるという目的でリーフレットにまとめるという学習の見通しがもてるようにする。		<ul style="list-style-type: none"> ・並行読書 ・都道府県の良さが紹介された図書の選書
	2	○リーフレットの特徴を探る。	・教科書のモデル文を読み、リーフレットの形式的な特徴や書き表し方の工夫に気づかせるようにする。		
二	3	○リーフレット作りの手順を確認する。	・島根県を例にして、リーフレット作りの手順を確認することで、学習の見通しがもてるようにする。	<p>【思考・判断・表現】 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 (行動・ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書による学習支援 ・調べるテーマに必要な図書の選書
	4	○都道府県の「いいね!」を見つけ、その中から紹介したい観点を決める。	・様々な観点から都道府県の良さを見つけるよう促す。		
	5	○紹介したいものについて情報を集め、付箋にメモする。	・得た情報は付箋に常体で簡潔に書くように指導する。		
	6	○おすすめ No. 1 を決め、理由を書く。 (本時)	・事例を選ぶ時のポイントを明確にし、ふさわしい事例が選べるようにする。		
	7	○選んだ事例について、付け加えや修正	・事例を選ぶ時のポイントに従って、事例について見		
					<ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書による学習

	8	をする。 ○リーフレットの割 り付けを考える。	直しをさせるようにする。 ・教科書のリーフレットの 例を参考にしてどのような 順番で読むのかを理解させ る。	【知識・技能】 考えとそれを支える理由 や事例の関係について理 解している。 (行動・ワークシート)	支援
	9 10	○リーフレットを作 る。	・理由を表したり、事例を 挙げたりするときに使う言 葉を使うように指導する。	【主体的に学習に取り組む 態度】 粘り強く自分の考えとそ れを支える理由や事例と の関係を明確にし、書き 表し方を工夫して、リー フレットを作ろうとして いる。(行動・リーフレット)	・図書館司書 による学習 支援
三	11	○完成したリーフレ ットを読み合う。	・理由を説明する事例がわ かりやすく書けているかに 着目して読み合う。		
	課外	○完成したリーフレ ットを保護者に見て もらう。			

6 本時の学習 (6 / 11)

(1) 目標

- ・集めた情報の中から、おすすめしたい気持ちがより伝わる事例を選び、理由を書くことができる。
「B書くこと」(1)ウ

(2) 展開

学習活動と予想される児童の反応	○教師 (◎図書館司書) の支援 ☆評価
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>おすすめしたい気持ちがより伝わる事例を選び、おすすめする理由を書こう</p> </div> <p>2 事例を選ぶときのポイントを考える。 事例選びのポイント</p> <p>①情報量の多さ ②数値がある ③いろいろな視点から ④相手を考えながら</p>	<p>○前時までに収集した情報をワークシート上に表示しておくことで、理由と事例との関係を視覚的に理解しやすいようにする。</p> <p>○島根県の例を取り上げながら、事例を選ぶときのポイントを明確にすることで、活動への見通しを持たせるようにする。</p>

<p>3 おすすめしたいものを選び、ふさわしい事例を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報量が多いほうが、おすすめしたい気持ちがよく伝わるからこっちだな。 ・やっぱり数値があると説得力があるな。 ・読んでもらう人が保護者だから、レシピも入れてみようかな。 	<p>○◎児童の様子を伺い、必要な事例の選択が難しいような児童には、ポイントと照らし合わせながらメモと一緒に読み、ふさわしい事例を探すようにする。</p> <p>☆おすすめするものの事例としてふさわしいものを選んでいく。(ワークシート・発言)</p>
<p>4 選んだものをグループで交流し、助言し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こっちの方が数値が使われていて、わかりやすいと思うな。 ・視点が偏っているから、こんな情報があった方がいいんじゃない。 	<p>○効果的な話し合いをするグループや選択に困っているグループがあれば、全体で共有する。</p>
<p>5 選んだ事例をもとにして、おすすめする理由を書く。</p> <p>「○○をおすすめする理由は、～だからです」</p>	<p>○例を取り上げながら理由の書き方を確認することで、スムーズに理由付けができるようにする。</p> <p>○◎児童の様子を伺い、文末の表現が敬体になっているか確認する。</p>
<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人では決めきれなかったけど、友達と話し合ったことで選ぶことができよかった。 ・ポイントに合わせて事例を選ぶことができたけど、もっと違う情報も調べてみようと思った。 	<p>○ふさわしい事例を選べたことで、より相手に伝わりやすいリーフレットに近づいてきたことを伝え、次時への意欲につなげる。</p>

(3) 本時の評価

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
<p>選ぶポイントを意識しながら事例としてふさわしいものを選んで、理由を書いたり、友達に助言したりしている。</p>	<p>選ぶポイントを意識しながら、おすすめするものの良さが伝わる事例を選んで、理由を書いている。</p>	<p>事例の選択が難しいような児童には、選ぶポイントを決め、そのポイントに照らし合わせながら一緒に付箋を読むことで、ふさわしい事例が選べるようにする。</p>

(4) 研究の視点

○国語の研究の視点

おすすめのものを伝えるためにふさわしい事例を選んだり、理由付けをしたりするために、具体例を示してポイントを確認したり、事例と理由との関係性がわかるワークシートを用いたことは有効であったか。

○図書館活用に関する視点

図書館司書と連携した学習の展開や選書、先行読書、授業支援は、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、リーフレットを作成することに有効であったか。

7. 研究協議の概要

参加者	校内12名、校外1名 計13名
授業及び研究協議の概要	<p><授業の概要></p> <p>本時は、集めた情報の中から、おすすめしたい気持ちがより伝わる事例を選び、理由を書く授業を行った。前時までにみんなで考えた島根県の例をモデルとし、児童がポイントと照らし合わせながら、自分で必要な事例を選択していった。その後、選んだものをグループで紹介・助言し合い、事例を決定し、理由付けをしていった。</p> <p><協議></p> <p>○調べたことや考えたことを可視化するためにワークシートを活用した。また、メモには付箋を用いた。そうすることで、自分の考えを支える理由と事例を明確にさせるとともに、手元で操作しながら、情報について追加・修正がいつでも行えて、情報を整理することにつながった。</p> <p>○各都道府県の特徴を紹介した図書は、児童が普段あまり手に取らない分野の本であったが、リーフレットをつくるというゴールを明確にしたことで児童は意欲的に取り組み、調べる楽しさを感じることに繋がった。</p> <p>●事例をもとに理由を考える場面では、要約する力が必要であるが、自力でできる児童が少なかった。繰り返し指導しながら、学習を積み上げていく必要がある。</p>